

PGA-3

演習講師への事前説明 研修の重要性と方法

社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会
鶴ヶ島市生活サポートセンター
主任相談支援専門員 岡村英佑

ここからの流れ

時間	内容	担当
16:15~16:30	<導入講義> <ul style="list-style-type: none">・ 初任者研修の構造 (確認)・ 演習講師向けの取り組み・ 実習受入機関への対応	岡村
16:30~17:10	<演習> 各県の取組状況の共有・意見交換等	長谷川講師
17:10~17:20	2日目のまとめ	小島講師

ケアマネジメント基礎コース事前整理シートをご用意ください

初任者研修の構造 (確認)

科目	項目
講義 相談支援概論	①相談支援の目的
	②相談支援の基本的視点 I
	③相談支援の基本的視点 II
	④相談援助技術
障害者総合支援法及び児童福祉法の概念・現状とサービス提供プロセス	
障害者総合支援法及び児童福祉法における相談支援（サービス提供）の基本	
相談支援におけるケアマネジメント手法とプロセス	ケアマネジメントとそのプロセス、基本的視点 多職種連携とチームアプローチ
相談支援における家族支援と地域資源の活用への視点	地域における相談支援体制、地域づくり、資源の改善・開発、協議会の運営・活用

具体化
統合化

価値

理論

知識

技術

具体化・統合化

1日目	演習 1	相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術 (ケアマネジメントおよびサービス等利用計画作成に関するプロセス体験演習)
2日目	演習 2-1	実習課題に基づくアセスメントの検討 (スーパービジョンの体験)
インターバル①	実習 1	課題 1. 相談支援プロセスの実践① 課題 2. 地域資源に関する情報収集
3日目	演習 2-2	実習課題に基づく再アセスメントおよび支援方針（計画案）の報告と共有 (ケースレビューの体験)
インターバル②	実習 2	課題 3. 相談支援プロセスの実践②
4日目	演習 3	ケアマネジメントプロセスの定着演習
5日目	演習 4	研修全体の振り返り

体験
応用

体験
応用

概念化
定着

具体化・統合化を行いながら概念化・定着を図る

ニーズ整理票 (確認)

【演習】ワークシート3(ニーズ整理票)		グループ番号	受講番号	受講者氏名
インテーク 情報の整理 <small>(見たこと、聴いたこと、データなど：事実)</small>		アセスメント 理解・解釈・仮説 <small>(作成者のとらえたかた、解釈・推測)</small>		プランニング 対応・方針 <small>(作成者がやろうと思うこと)</small>
本人の表明している 希望・解決したい課題	(作成者のおさえておきたい情報)	理解・解釈・仮説② <small>(専門的アセスメントや他者の解釈・推測)</small>	支援課題 <small>(支援が必要と作成者が思うこと)</small>	
	本人			
	環境			

ニーズ整理票は、

- 整理するためのツール
アセスメント結果から、
真のニーズ
思考過程（私はこう考える）
仮説の根拠
（必要な情報を取捨選択）
⇒支援をするための基盤になります

- 言語化するためのツール
担当者会議等で、
支援方針や支援内容等を報告
行政担当者へ、
支給決定の根拠を報告
沢山ある情報の中から取捨選択し
必要な情報だけで端的に説明する
（ケースレポートをする）
⇒演習3日目につながります

演習講師向けの取り組み

- 都道府県の中で『生物-心理-社会モデル』を学ぶ機会がありますか？

演習講師自身が実践する機会（OFF-JTだけでなくOJTの中も含めて）

- 書き方を教えることではありません

二一ズ整理票を作成することが目的ではなく、自分自身の思考過程を整理するためのツールという意識を持つ

演習講師が自ら実践してみせることでイメージを持ってもらうことも重要

実習受入先<基幹・主任>の準備

- 受入側の体制整備

実習の受入方法やその目的についての共通理解（一定の質の担保を目指す）

- 実習から演習2、更にOJTにつなげる

地域の共通言語（ツール）として位置づけ、ケースレビューや事業所支援の際にもお互いに意識をすることで更に効果が高まる